

東京都防衛協会会報



発行所
東京都防衛協会
〒160-0001
東京都新宿区片町
1-11 藤田ビル2F
(TEL) 03-5919-8960
(FAX) 03-5919-8961
e-mail:tokyo@ajda.jp
ホームページ: www.ajda.jp

東京都防衛協会

○東京都防衛協会は、区市町村の民間の有志で構成されている地区協会を中心に、昭和41年3月に結成された任意の団体です。
○「自分の国は自分で守る」の気概をもって、広く都民の間に防衛意識の普及と高揚を図るとともに、自衛隊を激励・支援してその充実発展に寄与するような広範な活動を続けています。
○会報紙「東京都防衛協会会報」を発行し、協会や部隊・自衛隊の活動を紹介し、都民と自衛隊の間の架け橋となっています。

平成28年度定期総会

50周年迎え更なる飛躍を誓う！

奉月9日、明治記念館において記念式典開催

創立50周年となる節目の年度を迎えた東京都防衛協会（佃和夫会長）は、5月18日、グランドヒル市ヶ谷（新宿区）において第51回定期総会及び関連する行事を開催し、創立当初の志に思いを致しつつ平成28年度の活動を本格的に開始しました。

総会

佃会長の「50周年を迎えて、設立当初の志に思いを致し、各地区協会及び都協会が連携を深めて活動していきたい」旨の挨拶の後、澤山理事長を議長に選出して、①平成27年度事業報告 ②同収支決算書 ③平成28年度事業計画（案） ④同収支予算書（案） ⑤役員人事（案） ⑥東京都防衛協会規約の一部改正 の6個議案が審議され、原案通り承認されました。



表彰式

受賞者氏名は4面に掲載しています

講演会

前西部方面総監の番匠幸一郎氏より「日本という国と日本人：防人の勤

務を通じて感じたこと」と題してご講演頂きまし



東日本大震災、イラク人道復興支援、南西防衛等について、番匠講師が指揮官あるいは幕僚として勤務された豊富な経験に基づいた貴重なお話を伺うことができました。

懇親会

外添要一東京都知事の祝辞を田邊揮司良危機管理監が代読する中、会員はじめ自衛隊、防衛協力団体、東京都庁・都

28年度主要事業

- ①防衛講演会
定期総会・理事会に合
わせて実施
- ②防衛研修会
・第一師団研修
・防災訓練研修
・女性防衛研修（7・5）
・青年部会研修
- ③東京都防衛協会会報
発行
（四半期毎）年4回
- ④北方領土返還要求全国
大会参加
- ⑤自衛隊行事支援・参加
・部隊等創立記念行事
・富士総合火力演習（8月）
・中央観閲式（10月）
・自衛隊音楽まつり（11月）
- ⑥特別会員向け行事
・意見交換会（7・27）
・富士火力演習（8月）
・50周年記念行事
・平成28年7月9日
・明治記念館

佃会長挨拶（要旨）

皆様方には平素より防衛協会の事業・活動に多大のご支援・ご協力を賜り、感謝申し上げます。さて、皆様ご承知のよう

に、東京都防衛協会は創立50周年という大きな節目の年を迎えました。

このため来年2月に開催する創立50周年記念行事をはじめ活動の更なる充実・発展を目指して、昨年度から「部隊研修」や「講演会」の充実、

「特別会員向け事業」の新設、「東京都防衛協会会報」の発行など様々な事業について、具体的な準備を進めてきています。

本日は、これらの活動を織り込んだ平成28年度事業計画（案）、収支予算（案）、役員人事（案）等についてご審議頂きま

すので宜しくお願い致します。

現下の世界の安全保障環境は、中東情勢での混乱の増大に加えて、国際テロや海洋、宇宙、サイバー空間におけるリスクなど国境を超える脅威の出現など、多種多様な事態が生じ大きく変化しつつあります。

一方日本を取り巻く環境も、北朝鮮による核・ミサイル開発の継続や挑発行為、中国による尖閣諸島周辺での領海・領空侵犯など一層厳しさを増しています。

このような中、自衛隊の皆様はわが国の安全保障という重大任務に精励され、熊本地震における災害派遣等国内外において様々な活動を行っており、国民の自衛隊に対する信頼と期待は一段と高まってきています。

東京都防衛協会は、昭和41年3月に設立されてから今日まで、「国民の防衛意識の高揚」と「自

衛隊を激励・支援し、その充実発展に寄与するよう広範な活動を続けています。会報紙「東京都防衛協会会報」を発行し、協会や部隊・自衛隊の活動を紹介し、都民と自衛隊の間の架け橋となっています。

東京都防衛協会五十年の歩み（1）

東京都防衛協会は、今年創立50周年を迎えました。昭和41年3月27日、東京都自衛隊協力会連合会として発足、翌年には東京都防衛協会と改称、爾来今日まで、首都東京都の防衛協会として、東

京都に所在する自衛隊を応援することにも都民の防衛意識の普及向上を目指して活動してまいりました。

また、この間、昭和43年の東部防衛協会及び平成元年の全国防衛協会連合会の設立に

発起人代表として先頭に立ち、地域や全国を網羅する組織の結成・充実にも尽力してきました。途中、活動が停滞気味になった時期がありましたが、近年は加入している地区協会が逐次増えつつあります。

東京都防衛協会創立50周年を記念して、3回に亘って「東京都防衛協会五十年の歩

み」をお届けします。

1 本会設立から全国防衛協会連合会（以下、連合会）結成（平成元年）まで

（1）本会設立の経緯

昭和30年代後半の時代は、昭和39年の東京オリンピック開催、翌40年の日韓基本条約締結等明るい出来事がありま

したが、一方で、35年6月の日米安保条約改定前後から日米安保闘争が繰り広げられ、国内において非武装中立や自衛隊反対、更



にはベトナム戦争反対が声高に唱えられていました。



（4面に続く）

暑中お見舞い申し上げます

東京都防衛協会

会長 佃 和夫

副会長 山本正巳

副会長 浅野敏雄

副会長 川本裕康

副会長 金澤博範

副会長 中島幹夫

副会長 山田忠昭

副会長 澤山正一

副会長 中島幹夫

副会長 石井 一

副会長 青木 豊

副会長 瀬尾正弘

副会長 石田 健

副会長 伊東庸行

副会長 石田 芳英

副会長 小俣雅宏

副会長 斉藤正彦

副会長 佐伯 寛

副会長 川里春治

副会長 栗山欽行

副会長 関口 充

副会長 川元賢一郎

- 昭島市防衛協会 会長 中島幹夫
- あきる野市秋川地区防衛協会 会長 石井 一
- あきる野市五日市防衛協会 会長 青木 豊
- 板橋区防衛協会 会長 瀬尾正弘
- 江戸川区防衛協会 会長 石田 健
- 青梅市防衛協会 会長 伊東庸行
- 奥多摩町防衛協会 会長 石田 芳英
- 北区防衛協会 会長 小俣雅宏
- 清瀬市防衛協会 会長 斉藤正彦
- 国立市防衛協会 会長 佐伯 寛
- 小平市防衛協会 会長 川里春治
- 狛江市防衛協会 会長 栗山欽行
- 渋谷区防衛協会 会長 関口 充
- 杉並区防衛協会 会長 川元賢一郎
- 世田谷区防衛協会 会長 熊本哲之
- 立川市防衛協会 会長 滝島秋生
- 千代田・中央防衛協会 会長 中谷 照
- 豊島区防衛協会 会長 吉村辰明
- 新島村防衛協会 会長 前田靖男
- 西東京市防衛協会 会長 山田忠昭
- 練馬区防衛協会 会長 村上悦栄
- 八王子市防衛協会 会長 森上秀男
- 羽村市防衛協会 会長 濱中俊男
- 東久留米市防衛協会 会長 石田 清
- 東村山市防衛協会 会長 倉林辰雄
- 日野市防衛協会 会長 土方尚功
- 日の出町防衛協会 会長 嶋崎 明
- 檜原村防衛協会 会長 清水久巳
- 福生市防衛協会 会長 山崎皓久
- 瑞穂町防衛協会 会長 吉岡 忠
- 三鷹市防衛協会 会長 金井富雄
- 武蔵野市防衛協会 会長 井口良美
- 武蔵村山市防衛協会 会長 木場陽介
- 目黒区防衛協会 会長 小野瀬康裕

私たちの誇り 躍動する自衛隊！

海賊対処 活躍中

日本から1万km
ジブチの地で！

第1師団（師団長 西 浩徳陸将）は、今年2月から派遣海賊対処行動支援隊第5次隊の司令部・業務隊・警衛隊を派遣し、海上自衛官とともに各国の軍隊と協力しながら、欧州や中東から東アジアを結ぶ重要な海上交通路の要衝であるジブチにおいてソマリア沖・アデン湾海域の安全確保に当たっています。現地から隊員2名の声をお届けします。

橋戦士ジブチに立つ

第5次隊 警衛隊
3等陸曹 岩阪 勇樹
34普通科連隊第5中隊



海賊対処行動の要として海上自衛官が参加している派遣海賊対処行動航空隊の固定翼哨戒機P3Cはアデン湾を航行する数多くの一般船舶を慎重に識別するという隙のない哨戒任務を行っています。従って自分自身も、監視飛行を行う海上自衛官の方々を始めとした拠点勤務者が安心して勤務できるように、隙のない警備を心掛けています。

帰国まで油断せず、健康管理に留意し、日本国自衛隊の一員としての誇りと、送り出してくれた橋連隊（第34普通科連隊）及び家族への感謝の気持ちをお届けします。

女性陸上自衛官 ジブチ初上陸

第5次隊 司令部
3等陸佐 高根 久恵
（師団司令部法務幹部）



私は、法務幕僚として派遣され、ジブチの日本隊自衛隊活動拠点において指揮官に対する法的な補佐や部隊の任務遂行のための法務業務を行っています。

海賊対処にはこれまで派遣され、ジブチの日本隊自衛隊活動拠点において指揮官に対する法的な補佐や部隊の任務遂行のための法務業務を行っています。

ちを忘れずに引き続き頑張ります。

熊本地震災害派遣

今回の派遣にあたっては、私の派遣期間中に5歳になる双子の子供達の面倒をみてくれている自衛官である夫や、保育園の急なお迎え等に対応してくれている夫の両親が派遣準備から協力してくれて、私の事を後押ししてくれました。

第1師団は「熊本地震」に対して、4月16日～5月10日の間、第34普通科連隊（連隊長 白川 1佐）を基幹とする部隊（1後支連、1施大、1通大、1偵の1部が配属）及び第1後方支援隊補給隊を派遣し、人命救助活動、道路啓蒙・瓦礫除去、給食・給水・入浴支援等、被災者に寄り添った災害派遣活動を献身的に行いました。

被災者に 寄り添って 「災害派遣活動」 を通して得たもの

今回は、第1後方支援隊補給隊の一員として、阿蘇西小学校での入浴支援に当たった平野 明音士長の手記（要約）を紹介します。



驚愕する被害の中、入浴に求められる被災者の方々は、そのような事を感じさせない程、明るさと笑顔があり私はなぜなのか分からずにいました。そんな時、被災者の方から「ここのお風呂に入りて来ると温かく出迎えてくれる人がいてとても賑やかで私達にとって癒しの場所だよ。」「自衛隊の

方達が何より心強くて、優しいので安心します。」等の沢山の言葉や手紙を頂いて、ようやく理解する事が出来ました。特に印象に残ったのが後藤春音ちゃんという女の子からの手紙でした。慣れない手つきで書かれた手紙には、私たちに

感謝の気持ちや体調を気遣う内容、可愛らしい絵が書かれていました。春音ちゃん自身も被災して辛い経験をしているのにと思うと涙がこみあげてきました。活動は、苦しい、辛い瞬間もありましたが、感謝の言葉や手紙は、私の励みとなりより強い気持ちを持って支援にあたる事が出来たと思います。

駐屯地紹介 朝霞

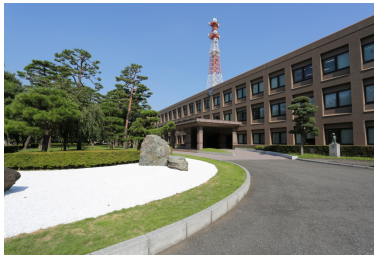
朝霞駐屯地は、都心から約20kmの位置にあり、駐屯地総敷地面積約90万㎡（周囲約4km）で隣接した訓練場約70万㎡を有しています。1都10県の防衛の中核及び災害等の支援拠点駐屯地として、東部方面総監部をはじめ、自衛隊体育学校や陸上自衛



朝霞駐屯地全景

衛隊研究本部、女性自衛官教育隊など多種多様な26個部隊・機関が駐屯し

自衛隊広報センターは、陸上自衛隊として最大規模の広報施設で資料や主要装備品等の展示を土日等を含め常設的に実施しており、陸上自衛隊の広報活動の中核となっています。



東部方面総監部庁舎

朝霞駐屯地の所在する地域は、昭和16年、それまで朝霞ゴルフ場であった土地に、陸軍予科士官学校が設置されました。昭和16年10月、市ヶ谷から移転し昭和20年に終戦を迎えるまで約1万9千名の生徒がこの地で学んでいました。この陸軍予科士官学校にまつ数々の

の展示品やゆかりのある旧軍関係の資料などは、広報センターに隣接する振武台記念館で展示しています。

設群が豊川から、第124特科大隊が下志津から、輸送学校が立川から、そして練馬で新編された駐屯地業務隊等が移駐し朝霞駐屯地が誕生しました。以降、各部隊等の移転、新編により現在に至っています。平成6年には、東部方面総監部等が市ヶ谷から移駐しています。朝霞駐屯地といえは「自衛隊記念日観閲式」の実施会場です。第23回にあたる昭和48年から朝霞訓練場で実施してきました。今年は、3年に一度の観閲式の実施年度です。また、1964年の

地本コーナー

掃海艦「つしま」、惜しまれつつ最後の艦艇広報



体験航海に出港する「つしま」

東京地本は、平成28年5月13日から15日までの間、7月1日付で除籍予定の掃海艦「つしま」（艦長 増澤寛治2等海佐）による艦艇広報を実施しました。

13日は、横須賀から晴海埠頭への回航を活用して体験航海を実施し、透きとおる快晴の中、69名が東京湾のクルージングを満喫しました。

14・15日は、東京港晴海埠頭において開催された「東京みなと祭」に参加し、装備品展示、広報ブースの設置及び艦艇の一般公開を実施しました。

東京みなと祭は、東京港が国際貿易港として開港したことを記念して行われるイベントで、両日合わせて約8万人が訪れました。



偵察警戒車に見入る来場者

広報ブースでは、自衛隊の広報DVDの放映、南極の氷の展示、防弾チョッキ・制服等の試着、関東・東北豪雨等の活動写真パネルの展示を実施しました。写真を見た来場者からは「様々な災害活動等で頑張ってくれている自衛隊には、本当に感謝しています。」といった声が聞かれました。

艦艇の一般公開には、両日とも長蛇の列ができ、延べ4,107人が乗艦しました。長時間並ぶ来場者に対して、「つしま」の隊員による、らっぱ吹奏や手旗信号が披露され、来場者の疲れを癒していました。また、1日艦長として、14日は声優等で幅広く活躍中の杜野まこさん、15日はドラマ・CM等で幅広く活動中の濱田准さんがそれぞれ任命され、イベントに華を添えました。

一般公開終了後、掃海艦「つしま」が出港する際には、岸壁一杯に来場者が集まり、最後の航海となる「つしま」を盛大に見送っていました。

駐屯地・基地 イベント情報

- 朝霞駐屯地 7・19 納涼祭
- 十条駐屯地 7・22 盆踊り大会
- 練馬駐屯地 7・26 納涼祭
- 三宿駐屯地 8・9 盆踊り大会
- 東立川駐屯地 7・21 納涼祭
- 立川駐屯地 7・30 納涼祭
- 小平駐屯地 7・21 納涼祭
- 入間基地 7・20 納涼祭
- 横須賀地方総監部 8月上旬 ヨコスガサマーフェスタ2016
- 東部方面音楽隊 9・4 第66回定期演奏会（東京芸術劇場・要応募）

職場研修

本研修は東京地方協力本部募集課が大学生または大学院生を対象に実施している研修です。
お問合せ先 (TEL) 03-3260-054

東京地方協力本部

- #1オフィスツアー（空自・入間）9・上
- #7オフィスツアー（海自・護国艦等）10・上
- #3市ヶ谷オフィスツアー（艦艇研究所）8・中
- #4市ヶ谷オフィスツアー（法務）9・上
- #5市ヶ谷オフィスツアー（歯科・薬科）10・中

※「9・上」は、9月上旬を表します。

活動最前線！

地区防衛協会コーナー

杉並区

東京都防衛協会の創立50周年と東京都防衛協会会報の発刊をお祝い申し上げます。

自衛隊は1950年の警察予備隊発足から66年の年月が経ちました。

当初は大変な苦勞があったと聞いています。しかし現在の自衛隊に対する国民の好感度は92・



総会で挨拶する川元会長

青梅市

会長 川元賢一郎

東京都防衛協会会報の創刊、誠にありがとうございます。

國の平和と安全を護る崇高な任務と、国際平和貢献、多発する自然災害

2%に達しています。災害派遣での活躍に多くの国民が感謝した結果だと思えます。

ただ、本来の任務は国民の生命・財産を守る国土防衛です。日夜訓練し有事への万全な備えをしています。残念ながらその法整備は誠に不十分で、自衛官は両腕を縛られた状態で任務にあたっています。国内にいる反日勢力に政府も遠慮しているように思われます。

今後は国軍になり、その呪縛から解放され、よりグローバルに活躍できる体制にし、更には自衛官が誇りを持って行動できる、そんな活動を我々は進めて行きたいと思っています。



東京音楽隊隊員とともに

平成27年は創立50周年記念式典を挙行、記念誌の発刊、海上自衛隊東京音楽隊の「ふれあいコンサート」等を開催し、市民に防衛協会の存在を周知出来たことは欣快の至りです。

が、平成21年には青年部が発足し、防衛協会の目的と使命である「防衛思想の普及高揚」や「自衛隊の支援と協力」を活動目的とし、東京都防衛協会との連携を密に図りながら日々活動しています。

自衛隊との交流活動では、立川駐屯地とは7月に開催されます基地内での花火鑑賞会や9月に開催されます防災航空祭に、東立川駐屯地とは、7月に開催されます夏祭りや10月に開催されます駐屯地創立記念行事及び年末に行われます餅つき大会に、横田基地とは9月に

等に出動し、身を挺して活躍する自衛隊に、心から信頼と感謝の念を捧げます。

当会は昭和39年の創立ですが、この間、平成2年に当地出身の故石川要三代議員が防衛庁長官に就任。当時は会員数も現在の約3倍を擁し素晴らしい運営がなされており、高齡化社会の到来と共に会員の減少が進み現在は約千名で、会員拡充に努めております。

狛江市

会長 伊東庸行

我が国をとりまく安全保障環境が劇的に変化する今日、狛江市に防衛協会を再び作るべく、市内在住の元狛江市防衛協会会員、現東京都防衛協会会員の皆様から声が上がっており、東京都防衛協会よりご助言・ご協力を賜り、平成27年9月5日の設立総会開催に至りました。



講演中の石飛氏

また、「海上自衛隊横須賀総監部見学研修会」の開催、「海上自衛隊練習艦隊体験航海」への参加等様々な活動を通して会員の交流、自衛隊の日頃の訓練等への理解を深めることができました。

これからも東京都防衛協会と連携し、防衛意識の普及高揚を図り、防衛意識の育成強化に寄与するとともに、自衛隊を支援・協力して参ります。

立川市は、昭和15年に立川町から立川市に市制

立川市

会長 栗山欽行

力事業としては三市の合同ができました。今後とも組織の維持・向上を図るために、さまざまな諸課題に取り組みでいきたいと思います。

事業活動では、年度事業計画を作成し定期的に三役会や役員会を開催し、会務報告と進捗状況のフォローを実施し、問題点や課題については情報を共有化しあるべき姿を目指して行動しながら日々取り組んでいます。

東京都防衛協会報発刊にあたり会の発展をご祈念申し上げ活動報告とさせていただきます。

事務局長 大野孝孝



立川駐屯地での花火鑑賞

が施行され、面積25平方kmに対し人口18万人が住む人口密度が高い街となっている。市内中央部に陸上自衛隊立川駐屯地、東側には航空自衛隊横田基地と狭い市内に三つの基地が存在した自衛隊基地の街である。

立川の歴史をたどると立川駐屯地は、大正11年に立川飛行場が開設され陸軍飛行第5大隊が移設された。戦後、米空軍が駐留し基地の街として歩んできた。その後、昭和47年に日米共同使用となり、東部方面航空隊の移駐を経て昭和52年に全面返還され、立川駐屯地、南関東防災基地、国営昭和記念公園に分割され、現在のように変貌を遂げてきた。市民の間には、この頃より自衛隊を応援する4つの団体（立川防衛協会、自衛隊後援会、青年自衛隊協力会、自衛隊協力会）が発足し、その活動が活発に展開されていた。その後、多くの

市民の要望により4団体を統合し昭和56年4月、立川市防衛協会として初代故高嶋幸一氏が会長に就任し、2代目故若松貞一氏、3代目故草野忠正氏、4代目鳴島勇一会長と引継がれ、先人達の努力が今日に至っている。

統合創立以来35年、東京都防衛協会と立協は、市民の防衛意識の普及高

揚を図ることにより、防衛意識の育成強化に寄与するとともに、自衛隊への支援協力を通じてわが國の平和と安全・繁栄に貢献すべく努めて参りました。お陰様で市民の防衛意識も高まり、組織も本部、各支部、女性部、青年部と年々拡充しつつ自衛隊協力団体として発展しております。

今後とも、自衛隊基地の街として近隣防衛協会と絆をさらに深めるとともに、協会の活性化を図って参ります。

この度、日野市防衛協会会長に就任致しましたが、まさかの一念でございませう。

副会長の皆様方の訪問を受け、役職の申し出が御座いました私の多職の折からと、お断りの意を示したところでありましたが、役員及び会員の皆

様方の協力の元での了承をとの事でお受けすることと致しました。

武蔵野市防衛協会は、防衛意識の普及高揚・自衛隊の理解と健全なる発展に寄与する運動、併せて青少年の健全な育成に関する動きが活発に展開されてきています。

平成14年10月に創設しました。平成20年10月には青年部、平成23年2月には女性部が発足しました。平和と安全を守るために、自衛隊の活動を支援すること、そして私たちのできることは何か？みんな考えて日本の国防・安全・安心への学びを推進したいと考えます。

また東京地方協力本部西東京地域事務所管内四市（西東京・小金井・三鷹・武蔵野）の防衛関係団体（防衛協会・隊友会・自衛隊父兄会・自衛官募集相談員会）の交流を図るべく新年賀詞交歓会を平成19年に立ち上げました。本年は10年を迎え、

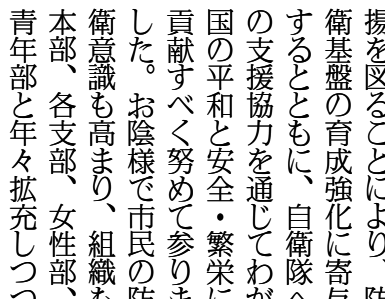
この行事は四市の防衛協会が輪番制で幹事を司り、本年は武蔵野市防衛協会が幹事を務めました。

事務局長 森田晴雄

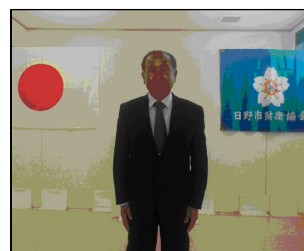
去る2月14日に開催しました。

この度、日野市防衛協会会長に就任致しましたが、まさかの一念でございませう。

副会長の皆様方の訪問を受け、役職の申し出が御座いました私の多職の折からと、お断りの意を示したところでありましたが、役員及び会員の皆



平成28年度総会（H28.5.21）



土方尚功新会長

受諾した以上は、役職に専念するとともに、防衛に関する知識の向上や関係団体への協力を推進してまいります。

最近では、東日本大震災や熊本地震などを契機に、防衛省・自衛隊・日米共同に対する信頼が高まり、自衛隊を容認する意識の高揚がみられているなか、日野市防衛協会の会勢の拡大のため役職員は勿論、一般会員の力も借りて会員増強も図ってまいります。通年の活動は、女性部・青年部とともに例年同様進めてまいります。来年度は、創立五十周年にあたる節目の年でもあります。

会員とともに素晴らしい記念事業を迎える為に、準備を進めてまいります。今後とも宜しく申し上げます。

今後とも、自衛隊基地の街として近隣防衛協会と絆をさらに深めるとともに、協会の活性化を図って参ります。

この度、日野市防衛協会会長に就任致しましたが、まさかの一念でございませう。

副会長の皆様方の訪問を受け、役職の申し出が御座いました私の多職の折からと、お断りの意を示したところでありましたが、役員及び会員の皆

様方の協力の元での了承をとの事でお受けすることと致しました。

武蔵野市防衛協会は、防衛意識の普及高揚・自衛隊の理解と健全なる発展に寄与する運動、併せて青少年の健全な育成に関する動きが活発に展開されてきています。

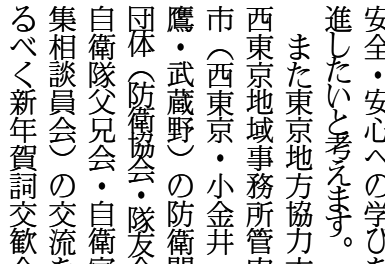
平成14年10月に創設しました。平成20年10月には青年部、平成23年2月には女性部が発足しました。平和と安全を守るために、自衛隊の活動を支援すること、そして私たちのできることは何か？みんな考えて日本の国防・安全・安心への学びを推進したいと考えます。

また東京地方協力本部西東京地域事務所管内四市（西東京・小金井・三鷹・武蔵野）の防衛関係団体（防衛協会・隊友会・自衛隊父兄会・自衛官募集相談員会）の交流を図るべく新年賀詞交歓会を平成19年に立ち上げました。本年は10年を迎え、

この行事は四市の防衛協会が輪番制で幹事を司り、本年は武蔵野市防衛協会が幹事を務めました。

事務局長 森田晴雄

去る2月14日に開催しました。



平成28年賀詞交歓会

この行事は四市の防衛協会が輪番制で幹事を司り、本年は武蔵野市防衛協会が幹事を務めました。

事務局長 森田晴雄

去る2月14日に開催しました。

「簡単ですてき!!」元気の出る料理

鶏肉のチーズ焼き ポロニヤ風

材料 (4人前)

- ◇鶏胸肉 -- 1・1/2~2枚
- 塩 -- 小さじ1
- こしょう -- 少々
- ◇小麦粉
- サラダ油、バター
- ◇ロースハム薄切り又は生ハム -- 4~8枚
- ◇好きなチーズ(5×10cm) -- 4~8枚
- ◇ブイヨン(顆粒)又は白ワイン -- 2/3カップ
- ◇マスタード -- 少々

作り方

- ① 鶏胸肉は皮を除き、薄く広くなるように2~3枚にそぎ切りにします。肉たたきか缶ビールで軽く叩き、塩小さじ1杯と胡椒をよくなじませます。
 - ② 鶏肉に小麦粉を薄くつけて、フライパンにサラダ油とバターを半々に熱した中で両面こんがり焼きます。
 - ③ オープンに入れる焼き皿にバターを薄く塗り、②の鶏、ハム、チーズを順に重ねて並べます。周囲からブイヨン(顆粒)または白ワインを注ぎ入れ、200~220℃に熱したオープンで約15~20分焼きます。ブイヨンが煮立ち、チーズがとけて、こんがり焼きた色がつけば出来上がり。
- 皿に取り分けて、焼き汁もかけていただきます。パセリにはマスタードも。



江上栄子先生
☆江上料理学院 院長
☆東京都防衛協会 女性部会会長



鶏肉のチーズ焼き
ポロニア風



イタリアのポロニヤはハムやチーズ、にわとりなどがおいしい地方です。この料理はあらかじめ少しの時間で焼くばかりに準備しておく、手早く、しかもおいしく出来るのでとても便利なのです。豚肉や魚でも。

蛋白質がたっぷり元気が出る料理ですが、ビタミンが足りない、葉っぱかトマトカラディ等で好みのサラダを作って添えましょう。お料理を4等分してホイルで包めばグリルやオーブントースターでも出来ます。

《 江上料理学院のお問合せ先 》
TEL 03-3269-0281 FAX 03-3269-0285

編集後記

皆さまの力強いご協力によりまして、東京都防衛協会会報創刊号を無事発行することができました。本当にありがとうございました。

会報が、会員皆様の活動のお役に立てよう努力してまいりますので今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。また、情報発信の手段としてご活用いただければ幸いです。

地区協会はもとより特別会員の皆様、ご投稿をお待ちしています。(M.W)
e-mail: watanabe@ajda.jp

日の出町は、都心から50km圏内に位置し、人口はおよそ1万7千人で、その西端には秩父多摩甲斐国立公園の表玄関となる標高902mの日の出山がそびえています。東側に位置する平地部には、圏央道(首都圏中央連絡自動車道)が走り、日の出インターチェンジの近隣には工業団地やイオンモール日の出が進出し、住宅地の整備が進むなど、人と自然が調和した緑豊かな町です。

町の最西端に位置する日の出山の山頂からは、関東平野が一望でき、特に一面の夜景から朝日が立ち昇る様子は非常に美しく、新年のご来光を迎える人気スポットとなっています。



開放的なパノラマ食堂

その下流には、マス釣りなどの川遊びとバーベキューが楽しめる「さかな園」があります。また、日米首脳会談を記念してオープンした日の出山荘には、江戸時代末期の農家を改築した青雲堂と茶室の天心亭があり、各国首脳が訪れた日本情緒あふれる風景や中曽根首相が使用した書院を体験できます。

食べ物では、町の特産品のトマトを使った料理として、つるつる温泉の「赤いうどん」、松華飯店の「中華風 赤いうどん」、さかな園では古の時代に傷ついた平将門に村人がふるまったという伝承のある「将門うどん」やしゃも鍋を味わうことも出来ます。

我々、日の出町防衛協会(会員数383人)は、このような恵まれた環境の中、町の総合防災訓練にも積極的に参加し、防衛協会の目的達成に向けて活動しております。

1師団等が災害救助に当たりました。このような時代を背景として、首都東京を含む首都圏(1都6県)の防衛警備・災害救助を担当する第1師団司令部が所在する練馬区をはじめとして東京都各地区に結成されていた15地区協会を中心に連合会結成の準備が進められ、昭和41年

日の出町

散歩道 名所・名店



日の出山山頂の日の出



日の出山荘 青雲堂

います。日の出山の麓、平井川の上流には、お肌がすべ

室の天心亭があり、各国首脳が訪れた日本情緒あふれる風景や中曽根首相が使用した書院を体験できます。

東京都防衛協会五十年の歩み(1)

①面から続く

また、昭和38年1月に発生した日本海側地方での記録的大雪(昭和38年1月豪雪)には陸上自衛隊中部方面隊及び東部方面隊が、昭和39年6月の新潟地震では東部方面隊に所属する第12師団、第

3月26日、市ヶ谷台上に於いて、櫻田武氏(日清紡績株式会社会長・日本経済団体連合会会長)を会長に戴く東京都自衛隊協力会連合会が発足しました。

《 初代理事長 藤原 岩市氏の記録から 抜粋 》

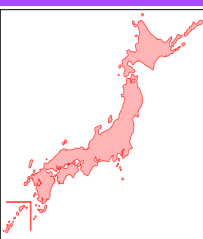
東京都防衛協会の沿革



38豪雪で活躍する自衛隊

東京都防衛協会の発祥は昭和37年8月、自衛隊が13個師団体制に変わり、第1師団司令部の所在駐屯地の練馬区に自衛隊協力会が、須田区長を会長に戴いて設立されたのが嚆矢であった。当時は、都民の自衛隊理解が乏しく、多くの区民に眠らず、一握りの有志のみの組織に過ぎなかった。その後、東京都オリンピック支援前後の各種大災害救援、重要行事の支援が自衛隊の認識評価を高め、都内各区、市町村に協力が結成され、昭和41年5月27日「東京都自衛隊協力会連合会」に改称された。

自分の国は自分で守ろう



青年部会会長に小山氏就任



私共東京都青年部会とは各地の仲間と交流をしながら防衛意識の高揚、自衛隊の活動への支援・協力を目的として活動をしてきたと考えています。今年度、青年部会では北方領土返還運動に会として参加をしたいと特に考えています。

今後、微力ながら努力精進する所存でございますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。
青年部会会長 小山茂夫

(藤原氏のご親族、横田泰彦氏) 東京都防衛協会特別会員から資料を提供していただきました。

(以下、10月号に続く)

表彰状受賞者氏名(敬称略)

- ◎団体 青梅市防衛協会
- ◎個人 昭島市 小町信一 高木浩男 野島淳子 富澤秋夫 あきる野市五日市 八田野剛紀 中村 裕 板橋区 宮塚一生 佐々木智盛 青梅市 宇津木力ズエ 柳井ヒロ子 渡部昭次 国立市 川口進一 小平市 青木俊明 世田谷区 芳賀 孝 島田益吉 立川市 石川智弘 小佐々二子 西東京市 岡崎芳雄 尾林長一
- ◎連合会表彰 八王子市 三沢潤一 羽村市 桜沢幹雄 東久留米市 小山健二 真田敏夫 東村山市 矢島健助 日野市 渡辺 明 小峯敏雄 日の出町 山内 充 清水昌孝 福生市 清水忠雄 武蔵野市 森田泰子 あきる野市五日市 遠藤正行



28年度受賞者(中央は協会長)